

## 国際局議員のご紹介

令和6年12月より、青柳仁士衆議院議員（現政務調査会長）から杉本和巳衆議院議員が国際局長を引き継ぎました。担当者および担当国の情報をお知らせいたします。



### 杉本和巳 衆議院議員（国際局長）

担当国：全領域

#### <担当国に対するコメント>

英オックスフォード大学院や米ハーバード大学院での経験を通じて、国際的な視野を身につけてきました。地政学的リスクが高まる昨今において、日本は重要なプレーヤーであると感じています。国際局長として外交政策を推進してまいります。

<以下、五十音にてご紹介>



### 東徹 衆議院議員

担当国：フィリピン、台湾、米国

#### <担当国に対するコメント>

フィリピンについては、日本との長い歴史的な関わりがあります。また、対戦では、50万人の日本の戦死者がおられ慰霊に行きたいです。日本の安全保障を考えると対中国で考えても大変重要な国になります。



### 阿部弘樹 衆議院議員

担当国：オーストリア、ドイツ

#### <担当国に対するコメント>

熊本大学大学院卒業後、オーストリアで研究、米国血液学会雑誌に掲載。帰国後、県議を務めながらゲストハウスで7年間200名のヨーロッパからのホームステイを受け入れ、国際交流を推進しました。



**伊東信久 衆議院議員**

担当国：ニュージーランド、フィリピン

**<担当国に対するコメント>**

東日本大震災のチャリティを大使館協力のもと開催。ニュージーランド女子代表を招致し、ラグビーと英語を子供たちに教えてもらった。今でもニュージーランドと定期的な交流を行っている。自身のラグビーの試合のためにこれまで3回ニュージーランドを訪問している



**市村浩一郎 衆議院議員**

担当国：インドネシア、韓国、モンゴル、カンボジア、ラトビア

**<担当国に対するコメント>**

ウクライナ危機や米中対立が深刻化し、国際秩序はますます複雑さを増しています。グローバルサウスやアジアなど、多層的な関係を構築することが今後の日本外交において肝要であると感じています。日本維新の会・国際局の一員として、世界平和に貢献したいと考えています。



**金子 道仁 参議院院議員**

担当国：スペイン、イタリア、ポルトガル、ブラジル、メキシコ

**<担当国に対するコメント>**

私の担当国はラテン語圏となります。外務省では専門語がスペイン語で、スペインに2年間留学していました（根っこの部分はラテン気質、何事にも楽観的です）。こうした経験を生かして議員外交に取り組み、信頼関係を構築していきたいと思っています。



**空本誠喜 衆議院議員**

担当国：インド

**<担当国に対するコメント>**

我が国の外交は、米国 US スチールの失敗（米国の魂を日本が買うなど米国側にとって言語道断）を見てもわかる通り、相手国の考え方を理解せず盲目状態で突き進んでいる。過去の東芝機械などの事例を理解した上で、日本人に欠けているロビー活動と外交戦略を欧州のみならずアジア圏においてもしたたかに構築しなければならない。



**美延映夫 衆議院議員**

担当国：フィリピン

**<担当国に対するコメント>**

フィリピンは経済成長著しく、ASEAN の中でもトップクラスです。シーレーン防衛の観点から覇権主義国家の不当な干渉を許さないという民主主義の立場を念頭に置き、フィリピンとの関係構築を強化する活動を行っていきたいと考えています。



**守島正 衆議院議員**

担当国：韓国

**<担当国に対するコメント>**

参与韓国は国連の電子政府ランキングで常に上位に位置付けられるなど、デジタルガバメントの取り組みが進んでいる中、大阪府市のデジタル関連の特別を務める廉 宗淳 先生を介し、実際に韓国に行き様々な実例を見るなどして、日本の DX 推進に向け多くを参考にするとともに、行政府の方々ともコミュニケーションをとってきました。また、コリアンタウンを有する生野区が選挙区であるということも縁として、韓国担当を仰せつかりました。



**和田 有一朗 衆議院議員**

担当国：台湾

**<担当国に対するコメント>**

台湾には、学生時代に留学生の知人の家に船で渡ったことに始まります。暖かで親日的な人情に触れ、たちどころに「親台派」となりました。青年会議所時代の交流から「李登輝友の会」での活動を通して構築してきた関係を活かしてまいります。